

## 競技注意事項

1. 本大会は、2013年度日本陸上競技連盟競技規則および大会申し合わせ事項に準じて行われる。
2. 本大会で8位までの入賞者は北陸陸上競技協会主催の北陸地域選手権大会の出場権を与える。
3. 選手招集方法について
  - ①招集場所は、雨天走路内100mスタート側に設ける。
  - ②招集時刻
    - ・トラック種目は競技開始30分前～20分前までとする。
    - ・フィールド種目は競技開始50分前～40分前までとする。（棒高跳びは90分前から開始）
    - ★ナンバーカードが付いたユニホームを着用して、最終点呼を受けること。
    - ・招集開始時刻までに招集場所に集合し最終点呼を受けること。なお、棒高跳とハンマー投げは競技場所で最終点呼を実施する。
    - ・遅れた場合は当該種目を棄権したものとする。
  - ③スタートリストはプログラム記載の競技開始時刻60分前より掲示する。棄権する場合はそのスタートリストに招集開始時刻までに×印を付けること。
  - ④最終点呼後は、係員の誘導で競技場所へ誘導するので係員の指示に従うこと。
4. ナンバーカードについて
  - ①ナンバーカードは胸・背部につけ、トラック種目に出場する競技者は右腰部にも付けること。なお、跳躍競技の競技者は背または胸部のどちらか一方でもよい。
  - ②1500m以上の長距離種目（競歩含む）はレーンナンバーカードを招集所より受取り、胸・背・右腰に付けること。その他の種目でレーンナンバーカードを使用する場合は、係員の指示で付けること。
5. トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載順による。
6. 以下の種目は予選記録上位8名が決勝進出とする。決勝を棄権する場合は、正式記録発表後30分以内に招集所へ申し出ること。この場合は、次記録上位者を決勝進出方式を取る。
  - 男女1000m ○男子2000m ○男子4000m ○男子8000m
7. 男女5000m・10000mは参加人数により同時スタートで実施する場合がある。
8. 棒高跳・走高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。（ただし、天候等で変更もあり得る。）

### 走高跳

区分	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後3cm ずつあげる
男子	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.88	1.91	1.94	
女子	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.58	1.61	

### 棒高跳

区分	練習	1	2	3	4	5	6	以後10cm ずつあげる
男子	3.00,3.50,4.00	3.10	3.20	3.30	3.40	3.50	3.60	
女子	1.50,2.50	1.60	1.70	1.80	1.90	2.00	2.10	

（\*三段跳びの踏切線は砂場より男子11mとし、女子は8mとする。）

9. 競技用具は、すべて競技場備えつけのものを使用する。棒高跳のポールは検定の上使用を認める。（競技場所で検定する）
10. スタート合図は英語とする（「On Your Marks」）  
（不正スタートによる失格は旧ルールを適用する。）
11. その他
  - ①スパイクのピンは、トラック競技は9mm以下、フィールド競技は12mm以下とする。
  - ②リレーのオーダー用紙の提出は予選・決勝とも招集開始時刻60分前までに競技者係に提出する。
  - ③競技中に発生した傷害については、応急処置のみ主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
  - ④競技場内に商品名のついた衣類、バックを持ち込む場合は本連盟ルールブック「競技会における広告物及び展示物に関する規定」に従うこと。
  - ⑤ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で使用することや所持することは助力とみなすので、最終点呼を受けた後は、使用したり、所持はしないこと。失格の対象となる。